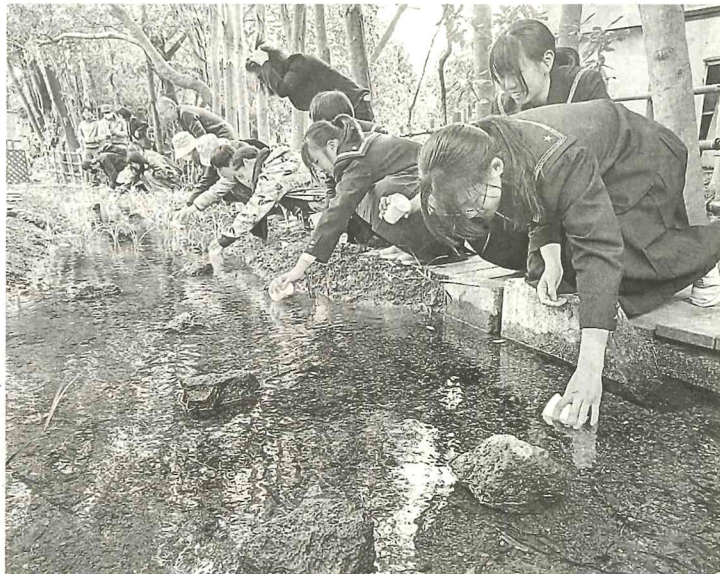


令和8年(2026年)3月23日 (月曜日)

蓮沼川上流でGW三島 カワニナも 5月中旬にも飛び始め



「ほたるの里」再生へ幼虫放つ

NPO法人グラウン
ドワーク(GW)三島
は20日、再生に取り組
む三島市泉町、蓮沼川
(通称・宮さんの川)
上流部のジオトープ
「ほたるの里」で、ホ
タルの幼虫と餌となる
カワニナを放流した。
早ければ5月中旬に飛
び始めるという。

ほたるの里は維持管
理を担う市民団体の高
齢化などにより、ホタ
ルの生育環境の維持が
できなくなったことか
ら、GW三島が維持管
理を引き継ぎ、草刈り
やヘドロの除去、水路
の土手補修などに取り
組んできた。

今回、幼虫約80匹、
カワニナ約3千匹を用
意し、地域住民や通り
がかった観光客、三島
北高演劇部の生徒ら約
20人が放流した。生徒
は「子どものころ、ホ
タルを見ていて、自分
が放流することになる
というのは感慨深い」
と語った。

放流前にはGW三島
の渡辺豊博専務によ
る、ホタルについての
解説もあり、多くの観
光客らが足を止めて聞
き入った。

ホタルの幼虫をそと
放つ参加者＝三島市内